

研究用ヒト臍帯血幹細胞利用に関する緊急アンケート結果

期間：平成25年7月29日～10月10日

対象：細胞材料開発室ユーザー

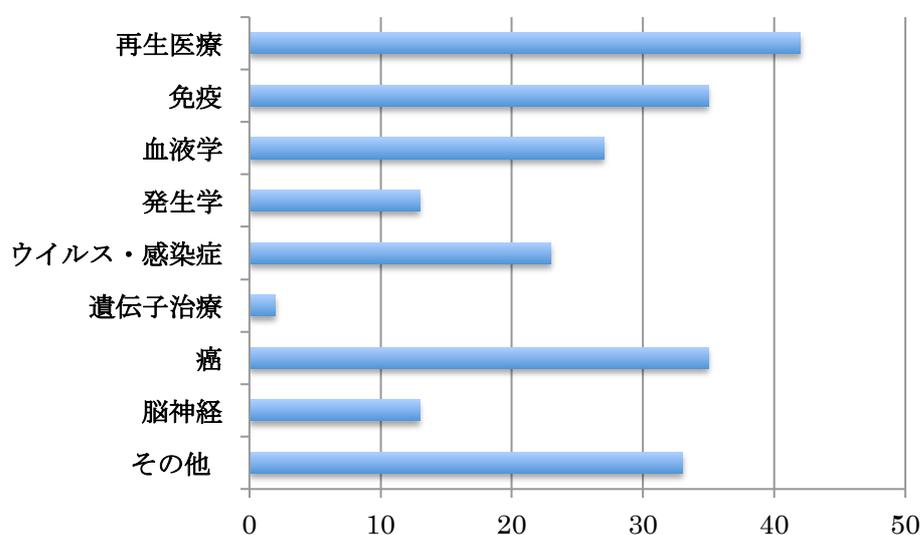
方法：メールニュース、HPにて依頼

回答数：134件

【全員対象】

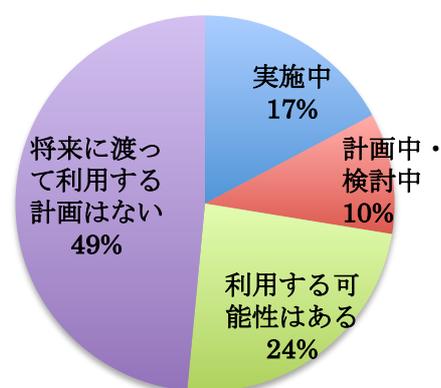
*研究分野について教えてください。(複数回答可)

回答数：134



*臍帯血幹細胞を用いた研究について、現状および今後の実施予定について教えてください。

回答数：134



***理研 BRC において、今後整備すべきリソース、品揃を充実すべきリソース、品質、その他について、ご要望、ご意見がございましたらご記入をお願いします。**

回答数：45

- 臍帯血 6
- 臍帯血以外の細胞 17
- 細胞以外のリソース 6
- その他 12
- 手続き等 4

***臍帯血**

- ・私自身は臍帯血の利用は増加していると考えておりました。今後供給が中止されるのは残念です。再開検討して頂くことを希望致します。
- ・主に CD34 細胞を利用しています。理研 BRC からの細胞は1ロット中の細胞数が少なく、利用しにくいです。1臍帯血からはおよそ $5 \times 10^5 \sim 2 \times 10^6$ の CD34 細胞が採取できることを考えると、1ロットでこれくらいを供給していただけないかと思えます。
- ・新鮮臍帯血の分与を昨年度後半から依頼しましたが、依頼する際に指定した検体数に達したことを認識しておらず、以降の検体を入手しそこねた経緯がありました。それも、当初考えていたよりもはるかに少ない数の検体を頂いた段階で、今回の打ち切りとなっしまい、非常に困っています。新鮮臍帯血の分与については是非再開していただきたく存じます。
- ・先の質問にも関わりますが、もし HLA 情報が得られれば研究には大きな支援になると思われます。ぜひご考慮いただければ幸いです。
- ・本当は、将来使ってみたい、の欄にチェックを入れたかったのですが、次ページから現在の使用数など細かく書かなくてははいけなかったので、使用する計画はない、を選択してしまいました。
- ・多少手数料が高くなっても HLA 情報が付加されていればニーズは高まると思われる。

***臍帯血以外の細胞**

- ・iPS バンク連携 間葉系幹細胞利用、骨髄バンクとの連携 遺伝子解析等の更なる個別化、ドナーの拡充と多様な細胞群
- ・現在多くの疾患を持つ患者さんから iPS 細胞が作られています。こういう疾患を治療するための研究の助けとなるので、疾患患者由来 iPS 細胞を多く揃えて頂くことが研究の間口を広げることにもなると思えます。
- ・疾患 iPS 癌幹細胞
- ・Feeder Free のマウス iPS 細胞を供給して欲しいです。
- ・ヒト骨髄単核球
- ・健常成人骨髄血、健常成人末梢血幹細胞
- ・臍帯血細胞以外にも、ヒト肝細胞やヒト神経細胞などもリソースにあれば利用してみたいと思えます。
- ・間葉系幹細胞の供給等されているか、homepage を拝見します
- ・コントロールとなるような細胞株等が揃っていると汎用性が高いのではないかと思います。
- ・DNA 損傷修復欠損細胞 (マウス、ハムスター、ヒト)
- ・ウイルスの宿主細胞を必要とします。たとえば MVM の宿主 324K 細胞が市販されると非常にうれしいです。
- ・マウスパルボウイルス MVM の宿主として文献で良く見かける 324K 細胞を取り扱っていただけると嬉しいです。米国 Yale 大学で樹立された細胞株です。動物ウイルスとその宿主細胞の品揃えを充実していただけると幸いです。(例：マウスレトロウイルス MuLV、とくにヒトに感染しない Ecotropic MuLV、ウイルス宿主となる FL 細胞というものも探しています。ヒト細胞でしょうか?)
- ・(1) 犬、猫など伴侶動物で自然発癌した細胞株を信頼できる研究リソースとして充実させてほしい。欧米では抗がん治療法の評価手法として人同様の自然発癌した伴侶動物での人治験前の試験の有用性が認識されており、in vivo 評価前の in vitro 評価での細胞株確保は重要である。(2) 犬、猫の iPS 細胞株の樹立と分与を期待する。残念ながら、犬、猫では信頼できる iPS 細胞株が樹立されていない(現状では、山中4因子で iPS 細胞は出来るが未分化状態で増殖しない)。寿命の点から、iPS の Benefit & Risk は犬、猫は人に比べ 1/5 の時

間で評価できる。 *上記(1)では、我々は独自に犬、猫の腫瘍から約30株を分離したが人的、予算的な限界のため貴所に寄託するに足る characterization が出来ていないのが実情である。(財) 動臨研

- なかなか難しいが退官する教授や教員が樹立していた細胞株をできたら保存分与できるようなシステムを作っていたら助かります。意外とこれがあったらという細胞がいつの間にか教員の異動や退職によって失われています。論文化されたものであってもこのような状況ですから論文化されていないものはもっと失われていると思います。
- 理研 BRC が現在提供していただいている Banks は研究上必要なものが大多数ですが時代の必要性の変化から柔軟にその継続中止を対応いたしてください。今、今後整備すべきは何であるかのしっかりしたアンケートを今度期待します。
- 論文で使用されている、トランジェントやパーマネントにトランスフェクトされた特殊な細胞を入手できればすばらしい
- Ontological info for the cell

*細胞以外のリソース

- 変異マウス、遺伝子操作マウスのリソースは必須
- 各種の疾患モデルマウスや、特に重要な遺伝子（例：ATG5, Caspase-8, Caspase-1, RIPK3, Myd88/TRIF など）の KO（もしくは floxed）マウスを迅速に入手できる環境を整えていただけると、国内での研究のスピードアップに大きく役立つと思います。
- Addgene のようなプラスミドバンクを national resource としてしっかり強化してほしい。倍加時間や推奨培養密度の情報または血清毎の変動があるとしてもしっかりのせてほしい（海外の細胞バンクでは結構しっかりのせていると思います）
- DNA, RNA, miRNA、タンパクのみの供給。
- ヒト病原性ウイルスを（ある程度の適性価格で）揃えていただけたら助かります。
- 脳神経科学分野における遺伝子導入ツールとして一般的になりつつあるアデノ随伴ウイルスの生産、提供をご検討頂ければ幸いです。

*その他

- 弊社の研究内容では、十分充実した内容となっています。
- 特にございません。いつも利用させていただき大変助かっております。
- いつもお世話になっております。現時点では特にありません。
- いつも状態の良い細胞をありがとうございます。今後とも宜しく願い申し上げます。
- 現状で十分です。
- 現状の研究では、現在の環境で十分対応いただいており、大変助かっております。
- 細胞提供を利用させて頂いております。今後ともよろしく願い申し上げます。
- とくになし
- 特になし
- 特になし。
- 考えているところです。
- 今後ともよろしく願いいたします。

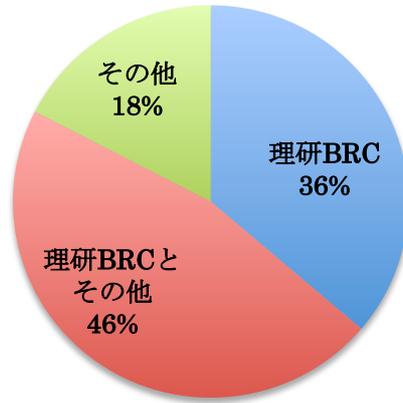
*手続き等

- ウェブ上のオーダー方法が複雑で非常に面倒。不慣れな利用者の目線で、ウェブの発注書類のダウンロードや、ウェブ発注→メールでの確認をもっとスムーズにできないか、検討されたい。発送締め日が、週1日というのをなんとかしていただきたい。確実にこなすためには、必要なかもしれないが、もう少し待ち時間を減らせないか、検討頂きたい。いずれにせよ、BRC には、大変お世話になっており、我々の研究に必須である。今後とも、今まで以上のサービスを期待しています。
- 細胞供与の際の手続きが以前と比べて煩雑になってます。必要な書類が多すぎます。もう少し簡略化できないでしょうか。細胞を使用しても、煩雑さのことを思うと使用をためらうことがあります。
- もし可能なら ATCC 等の細胞の distribution を現在の企業が介在した形態より安く行って欲しい。
- 研究の条件などにより、安価に提供していただけると良いと思います。

【臍帯血幹細胞利用研究者】

*現在の入手先（今後の入手予定先）について教えてください。

回答数：69



【入手先・今後の入手予定先が理研 BRC を含む】 57 名

【入手先・今後の入手予定先がその他】 12 名

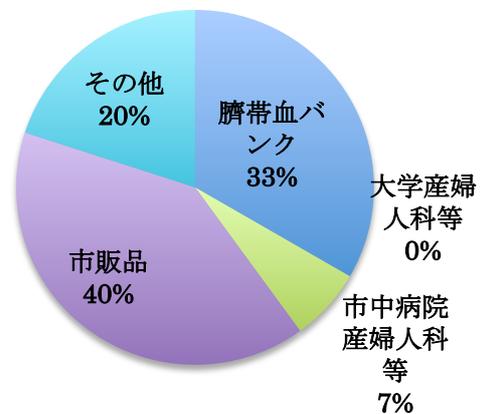
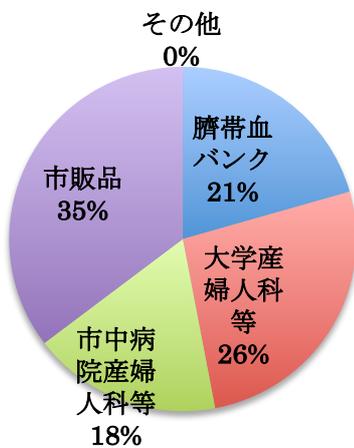
*理研 BRC 以外から入手したことがある方、ご予約の方はご回答をお願いします。（複数回答可）

【理研 BRC を含む】

回答数：34

【その他】

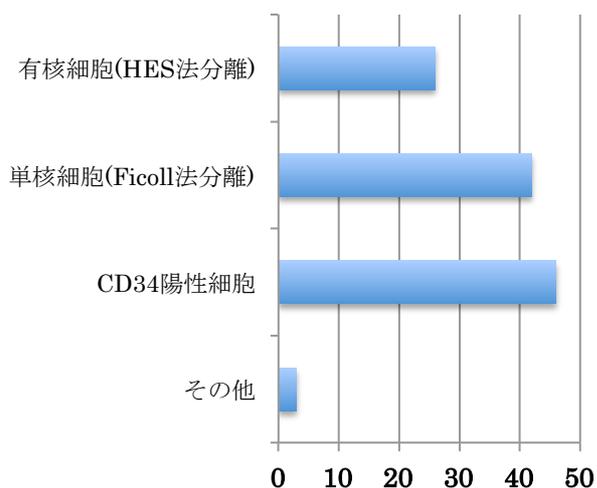
回答数：12



*現在、有核細胞、単核細胞、CD34 陽性細胞の3種類の細胞を提供しています。これらについて今後も必要と思われるものについて、チェックをしてください。(複数回答可)

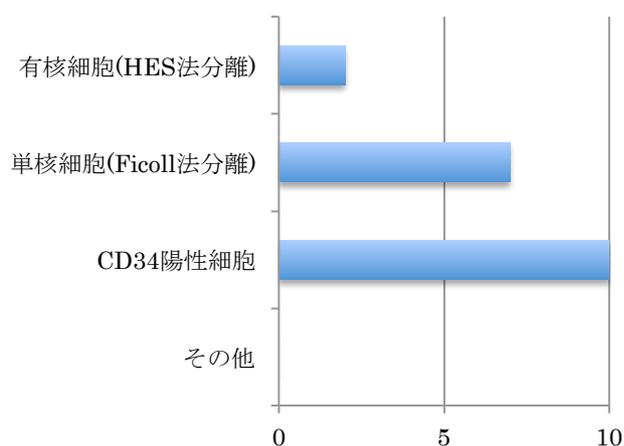
【理研 BRC を含む】

回答数：57



【その他】

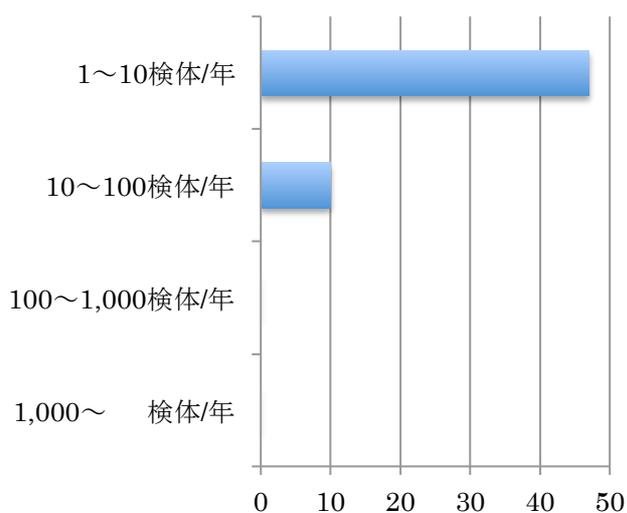
回答数：12



*現在の使用数について教えてください。(一人由来の臍帯血を1検体としてください。)

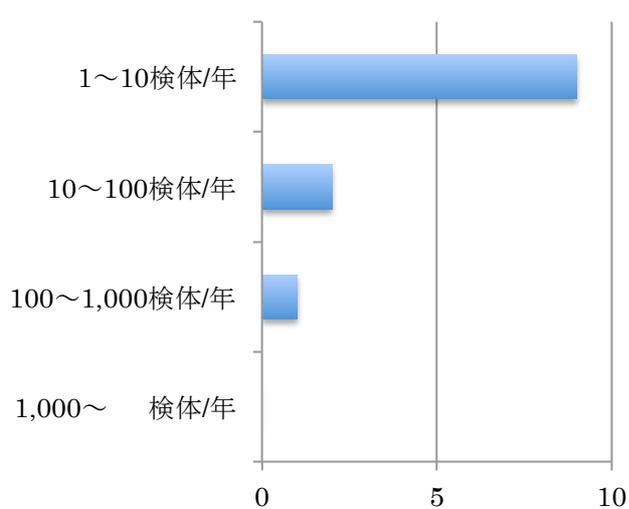
【理研 BRC を含む】

回答数：57



【その他】

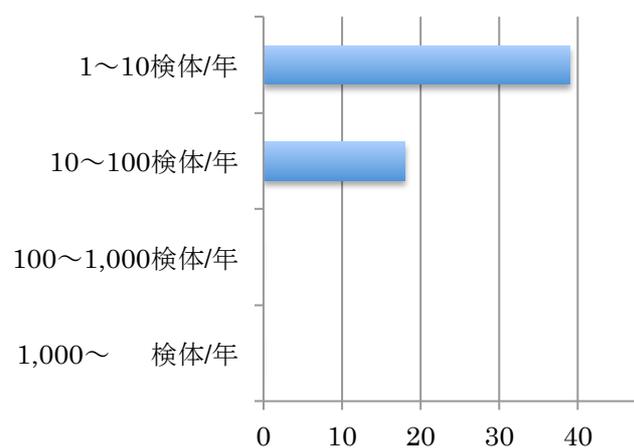
回答数：12



*今後の使用予定数について教えてください。(一人由来の臍帯血を 1 検体としてください。)

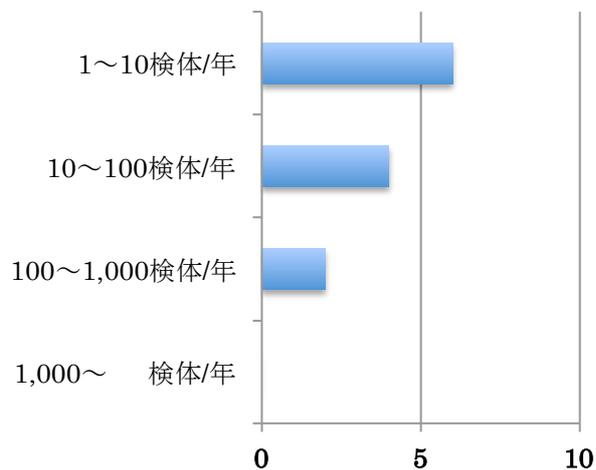
【理研 BRC を含む】

回答数 : 57



【その他】

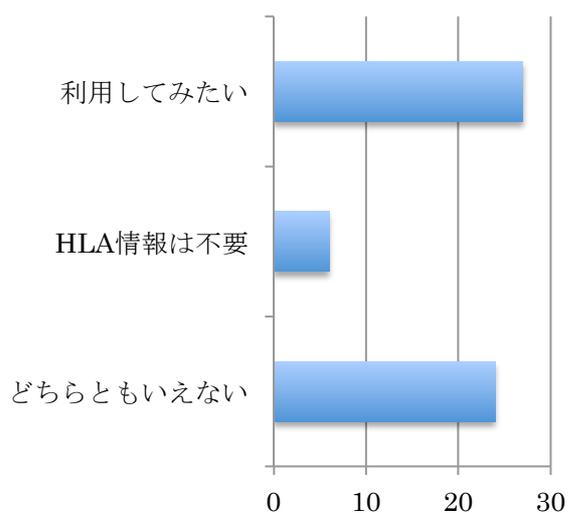
回答数 : 12



*提供している臍帯血幹細胞に HLA 情報が付加された場合、利用してみたいですか？

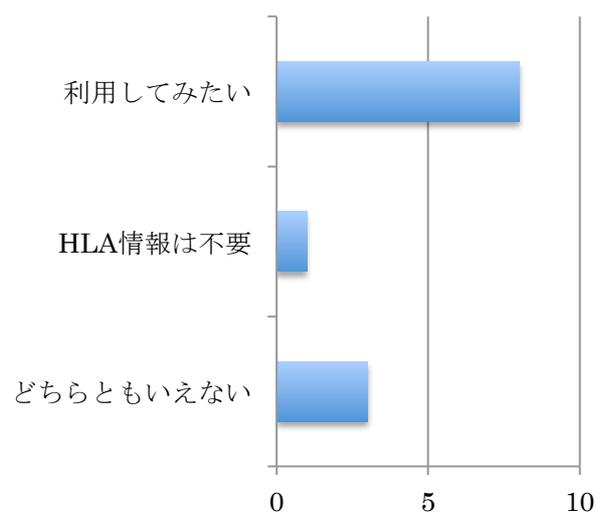
【理研 BRC を含む】

回答数 : 57



【その他】

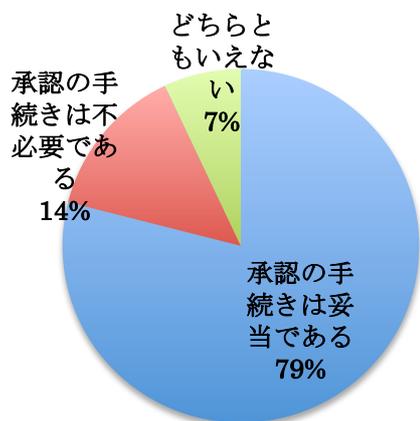
回答数 : 12



*理研 BRC では提供の際、機関内倫理審査委員会の承認の手続きが必要ですが、この手続について、ご意見をお聞かせください。

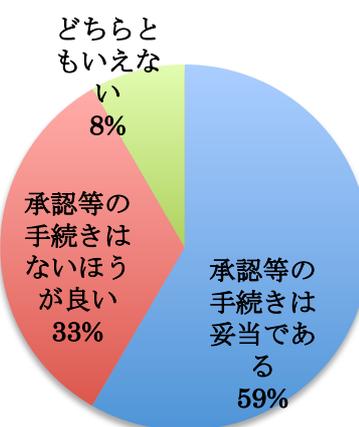
【理研 BRC を含む】

回答数：57



【その他】

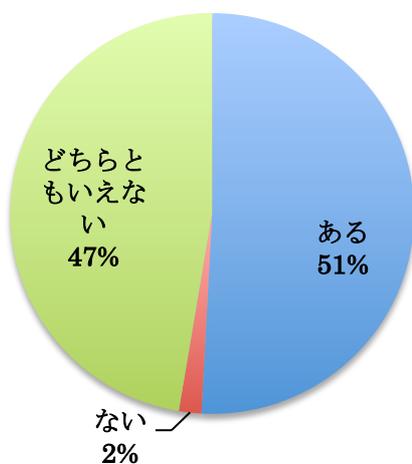
回答数：12



*理研 BRC が臍帯血幹細胞の提供を中止した場合、あなたの研究に支障がありますか？

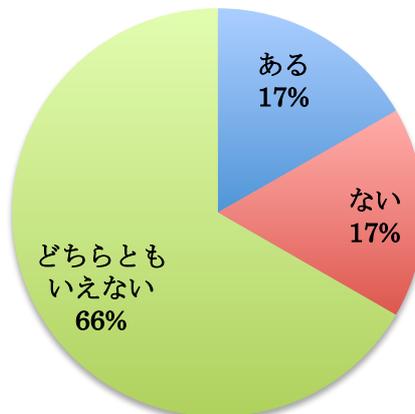
【理研 BRC を含む】

回答数：57



【その他】

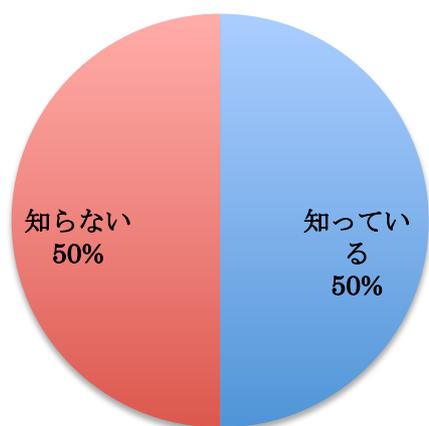
回答数：12



【入手先・今後の入手予定先がその他】

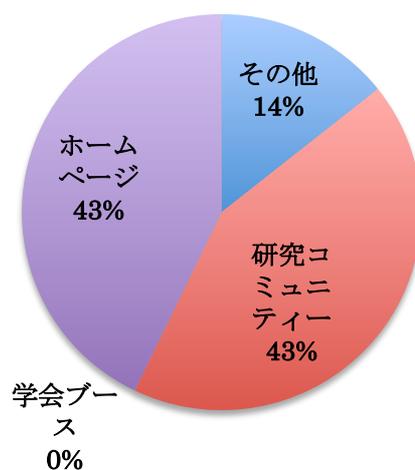
*NBRP の一環として、理研 BRC では臍帯血幹細胞の提供を行なっておりますが、ご存知でしたか？

回答数：12



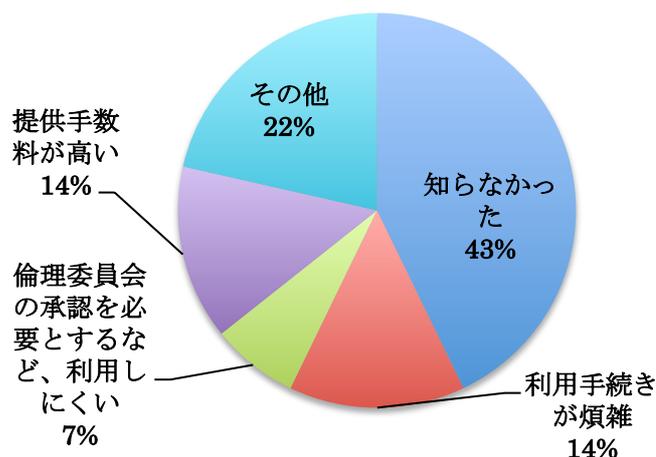
*「知っている」方のみ、どこで知ったのかお答えをお願いします。(複数回答可)

回答数：6

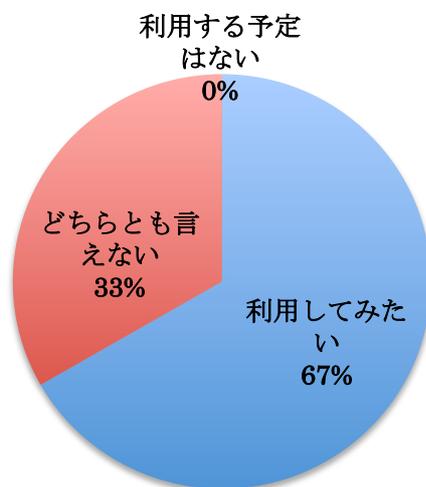


*理研 BRC の臍帯血幹細胞を利用していない理由を教えてください。(複数回答可)

回答数：12



*今後の理研 BRC の臍帯血幹細胞のご利用について教えてください。
回答数 : 12



ご協力ありがとうございました。